

第 22 回福岡同窓会開催される（報告）



平成 22 年 10 月 16 日（土）14:00～17:30, 第 22 回福岡同窓会がいつもの福岡国際ホール「志賀の間」で開催された。

司会は今年もまたお馴染みの本田正郎（昭和 31 年卒）氏が務めた。堀内勉（昭和 42 年卒）副会長の開会宣言の後、全員で亡師亡友への黙祷をし、南谷知成（昭和 36 年卒）前会長が童謡唱歌「ふるさと」の歌を例に引きながら同窓会出席への喜びを述べた。

川辺からは高田政雄（昭和 48 年卒）副会長が募金のお礼と 11 月 13 日（土）の創立記念行事への参加を呼びかけ、神田芳文学校長は母校の現状と福岡同窓会からの人脈派遣へのお礼を述べた。来賓として出席した恩師の長岡驍先生（担当：化学、在職：昭和 36 年～昭和 45 年）が、大阪万博への修学旅行に生徒引率した時の苦労話をされた。

全員で旧校歌・新校歌の 1 度目を斉唱した。乾杯は上木原純一郎（昭和 43 年）氏で、あいさつの後開宴した。恒例となった近況報告では、平成 22 年卒の新入会員から順に全員の

話がなされた。今年も出席者の最大派閥は南谷洋至（昭和 49 年卒）事務局長の同期生で、「第六応援歌」を先頭に立って歌い、会を大いに盛り上げた。

もう一度旧校歌・新校歌を全員で斉唱し、最後の締めは上野修一（昭和 49 年卒）副会長が行い、来年の再会を期してあいさつとした。

二次会は、これまた恒例のもつ鍋店（楽天地）の 5 階で、二次会から参加した人も含め 40 人程度が集まって、18:00～20:00 頃まで行われた。ここでは、昭和 55 年卒が会の運営に携わり、いよいよ福岡同窓会も 49 年卒から 55 年卒体制へ移行かという話題が出たが、最後はやはり前田光二（昭和 49 年卒）氏が締めくくった。

その後の三次会はそれぞれのグループに分かれて博多の夜を思い切り満喫したようである。本当に元気な福岡同窓会でした。

（追記）今年の福岡同窓会出席者はラッキーでした。川辺の焼酎「寿」や「八幡」は会場で十分に飲めたし、南谷洋至事務局長が創立 110 周年記念で作った焼酎「神戈陵」を全員にお土産として 1 本ずつサービスした。全員喜んで帰宅していた。

（文責：長野守雄）

2010 年 10 月 17 日 登録